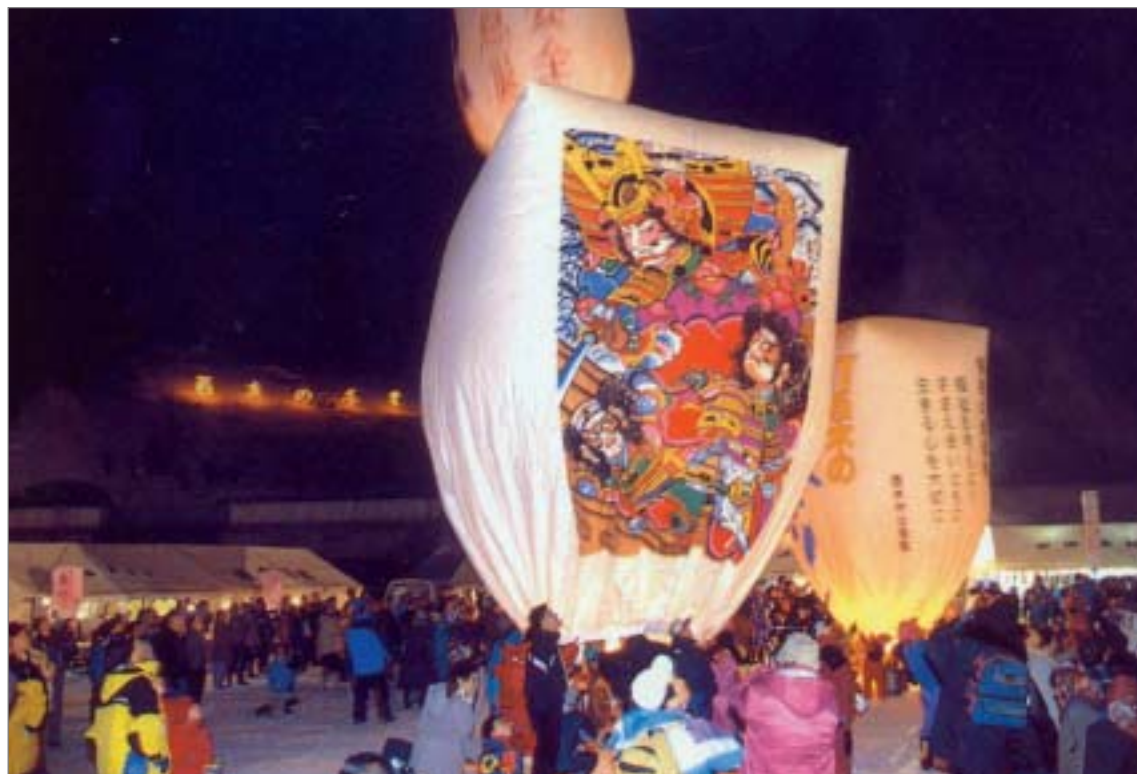


農山村を舞台にした感動産業の創出をめざして

～『都市と農村』『今と昔』のクロスワードで自分探し～

秋田県西木村



秋田県を代表する真冬の風物詩「上桧木内の紙風船上げ」。



ふれあいの森を舞台に森林交流体験をしました。



田沢湖畔の「ほっと空間」として賑わうむらっこ物産館。

事例の概要

- 平成8年に県内第一号の農家民宿が誕生したのを機に、地域の活性化に効果の高い地域ぐるみのグリーンツーリズムを目指してきた。
- 農山村資源を丸ごと活用した地域住民の地域住民による取組みは全県のモデルとなり県内外から多くの視察者が訪れている。
- 伝統行事を顕彰する紙風船館は、地域交流拠点として、コミュニティの維持に大きく寄与している。

評価のポイント

西木村は、全国的に有名な観光地である田沢湖・角館に隣接しており、住民も認める何もない村であった。西木村の都市農村交流は、昭和53年に首都圏を対象に農業体験の修学旅行を受け入れたのが始まりである。農村体験は子ども達に大きな感銘を与えるとともに地域住民にとっても地域への自信回復と誇りの醸成を促した。特に高齢者の暮らしに関する知識は、都市住民に驚きと発見をもたらし、村の宝物となっていった。平成8年には秋田県第一号の農家民宿が誕生するなど、都市農村交流に関する気運が高まってきたことから、村では、「西木村グリーン・ツーリズム構想」を策定。「できる人が、できるところから」をスタンスに「人情」をベースにした西木村型の都市農村交流を推進するため、平成10年には受入農家主体の「西木村グリーン・ツーリズム研究会」を発足。同年10月には第二号の農家民宿がオープンしたのを契機に、大曲市と角館町の農家民宿が誕生するなど全県への波及効果は大きいものがある。平成13年にオープンした農林産物直売施設むらっこ物産館は、運営を地元農家の主婦等で構成する「む

らっこの会」が行っており、元気な母さん達との会話が好評のほか、首都圏大手スーパーとの連携により首都圏での物産販売が可能となった。また、かたまえ山森林公園は、コテージ等の宿泊施設の他、森林学習館「森の学校」、炭焼き釜が整備され、全国の森林ボランティアが集う。さらに、伝統行事を顕彰する紙風船館は、地域交流拠点として大きく寄与している。特に、毎年行われる紙風船の製作は、高齢者から若者にその技術が伝えられ、祭り当日の2月10日には8集落（人口700人）が一斉に風船広場に集い、100個の紙風船が打ち上げられ、県を代表する真冬の風物詩となっている。身近な地域単位の実情に応じた個性ある取組みを展開する一方、散在する交流拠点施設の連携と多様な主体による地域づくりの相乗効果により、地域活力の維持・向上並びに地域住民の暮らしの高質化を実現している。このように、農山村が有する地域資源の再評価により「何もない村」だとあきらめていた地域住民が、自分たちの創意工夫により「何もない村だからこそ、この村にしかできないことができる」という発想の転換により、地域の活性化を図っている点が評価された。

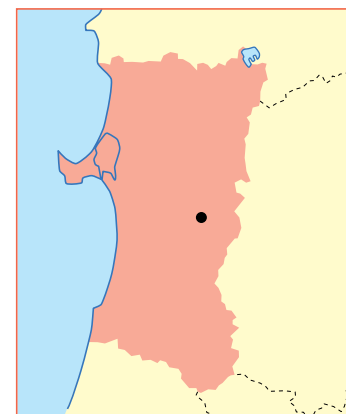


農業体験で完熟トマトを手には、はい、パチリ！



農家の囲炉裏でくつろぐ子どもたち。

秋田県 西木村



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
8,829	7,475	6,531	6,274	5,990

増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△32.2	△19.9	△3.9	△4.5

高齢者・若年者比率(H12)

高齢者比率	31.1
若年者比率	12.9

交通のご案内

- 自動車 東北自動車道盛岡ICから国道46号経由70分
- 電車 JR田沢湖線角館駅からバス15分
- 飛行機 秋田空港から自動車70分

団体連絡先

- 名称 秋田県西木村
- 所在地 〒014-0592 秋田県仙北郡西木村上荒井字古堀田47番地
- 電話番号 0187-47-2112（産業課）
- URL <http://www.vill.nishiki.akita.jp/>